

# 令和7年度在宅医療意識調査結果を ふまえた今後の啓発広報のあり方について

令和7年10月28日  
地域医療推進課

# ご意見をいただきたいこと

今後の啓発広報のあり方について、委員の皆さまからご意見をいただきたい内容は下記のとおりです

## 考え方イメージ

今回ご意見をいただきたい領域

部会で検討している

領域

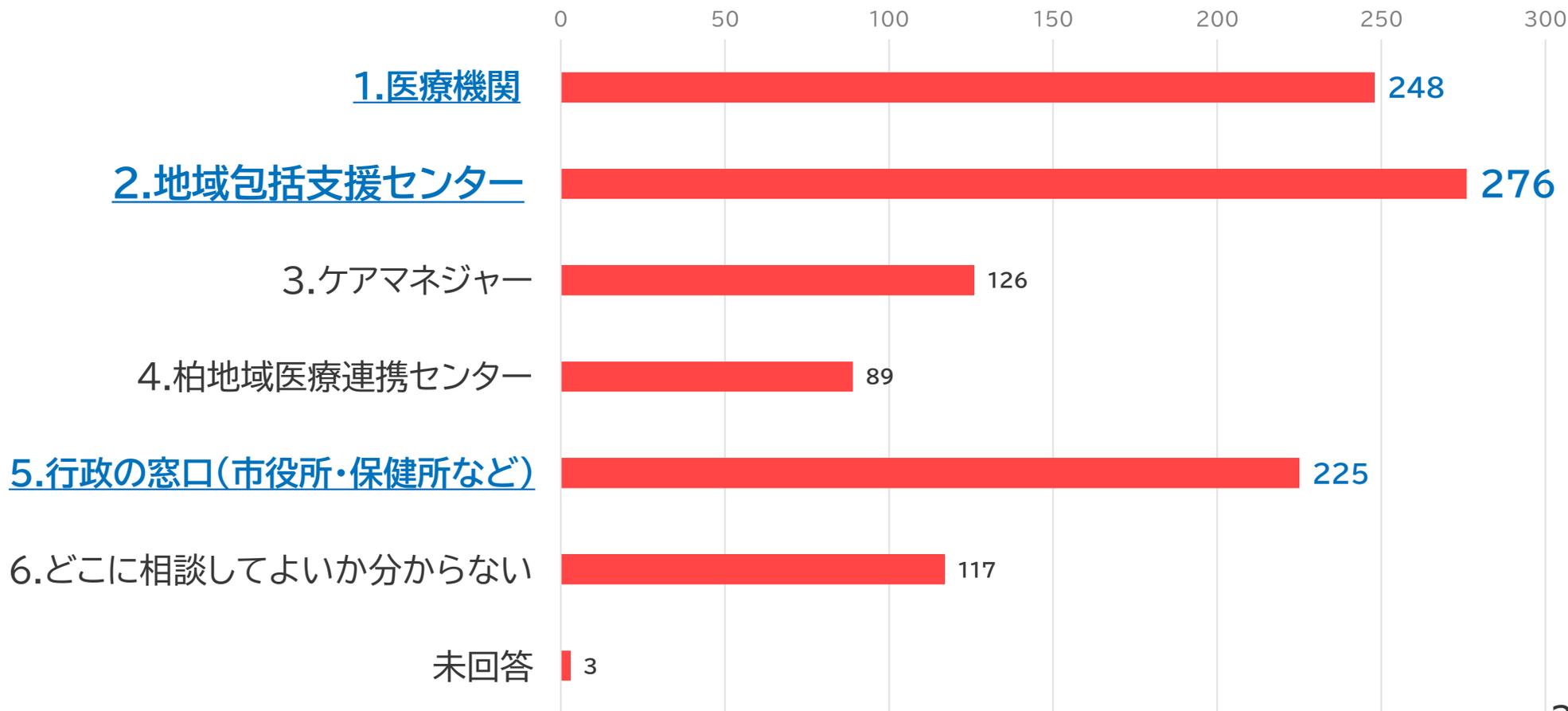
- 啓発広報に関する効果的なあり方や考え方
- 啓発広報のターゲットとなる層，働きかけたい層，アピールしたい層の優先順位
- 時代に即した新たな手法やノウハウや多職種間の連携可能性

- 認知度向上のため、『具体的な手段の検討』からアプローチ中
  - － わがやの認知度向上のための方法
  - － 出前講座を通じた在宅医療の認知度向上
  - － ピア上映会などイベントを通じた在宅医療の認知度向上

在宅医療意識調査から、在宅医療における相談先として「地域包括支援センター」が最多であり、次いで医療機関、行政の窓口と続いた

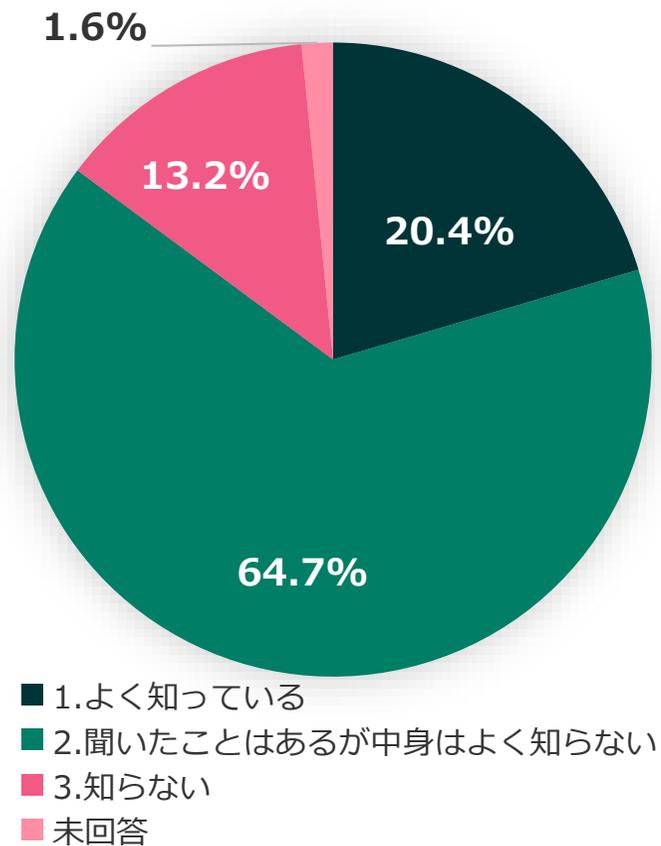
## Q3.「もしあなたが、在宅医療について相談したいと感じたとき、どこに相談しようと思いますか」

(複数回答可)

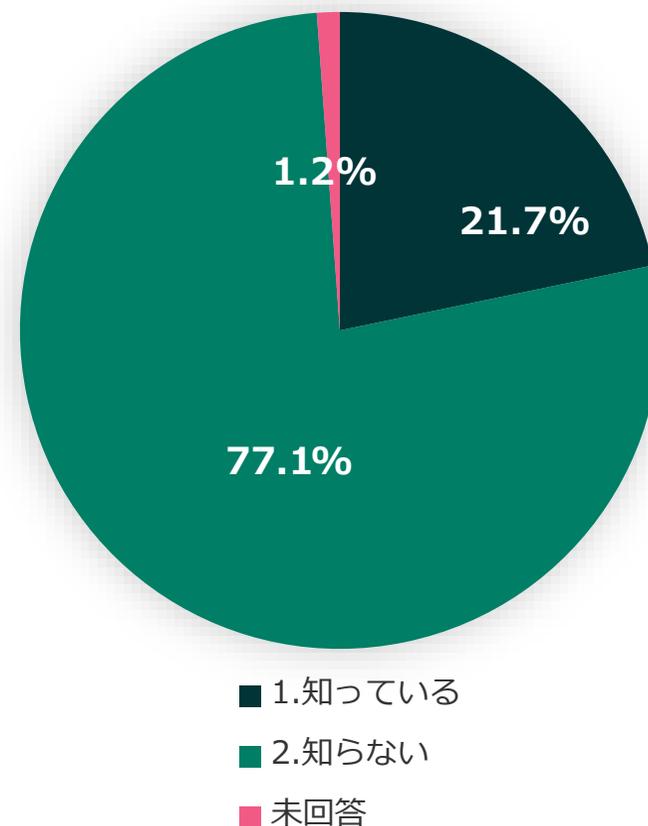


在宅医療意識調査から、在宅医療、柏地域医療連携センター、人生会議、わがやについて、まだまだ認知度が低いことがわかった

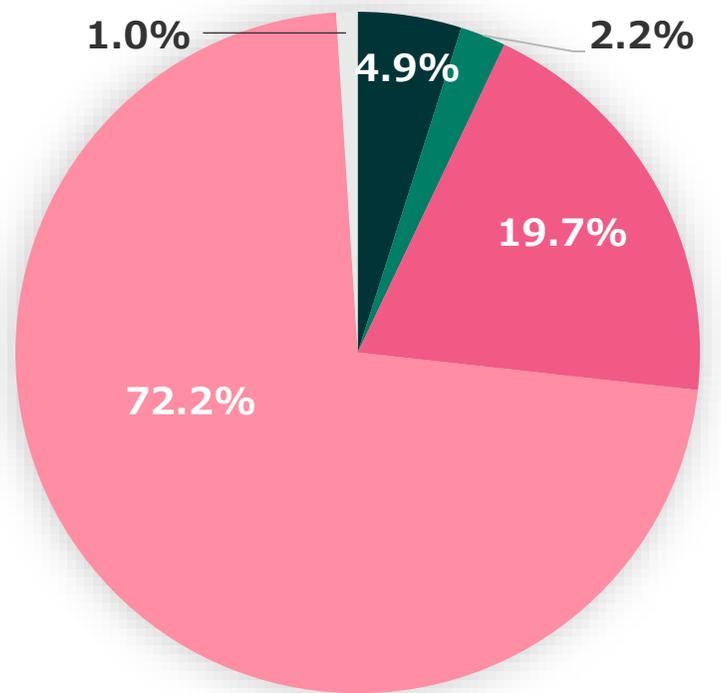
Q2.「通院が困難となった場合に“在宅医療”を利用できることを知っていますか」



Q4.「在宅医療や介護に関する相談を受け付けている“柏地域医療連携センター”を知っていますか」

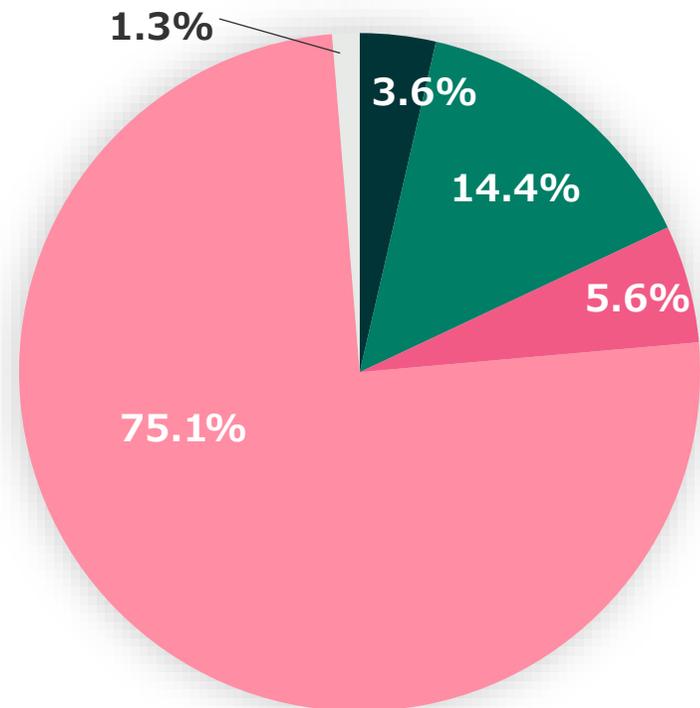


Q5. 「人生会議という言葉を知っていますか」



- 1.よく知り、必要性を感じている
- 2.よく知っているが、必要性を感じていない
- 3.聞いたことはあるが、よく知らない
- 4.知らない
- 未回答

Q9. 「年2回発行している在宅医療情報紙『わがや』を読んだことがありますか」



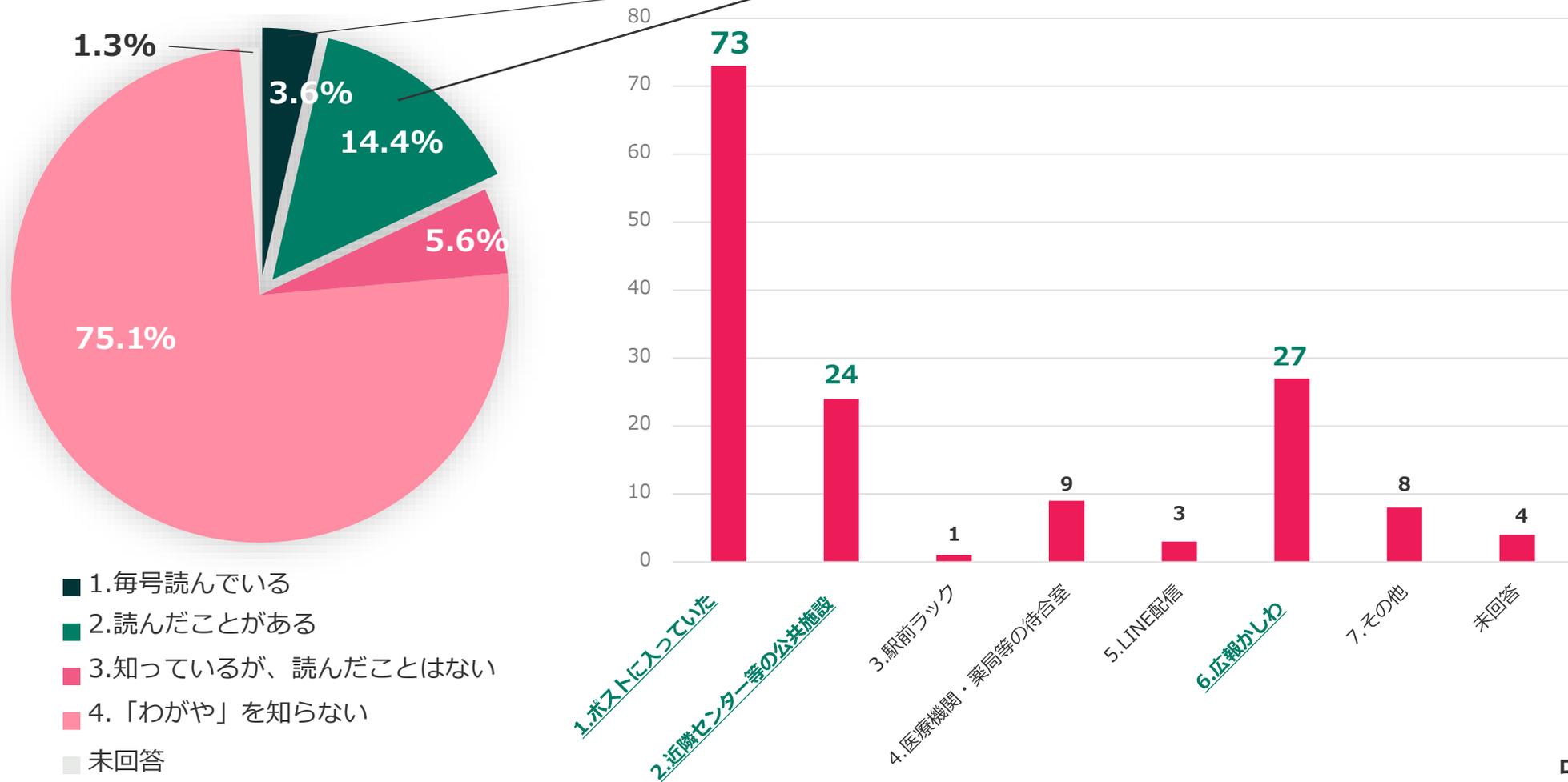
- 1.毎号読んでいます
- 2.読んだことがある
- 3.知っているが、読んだことはない
- 4.「わがや」を知らない
- 未回答

# わがやの入手先(令和7年度在宅医療意識調査抜粋)

わがやを読んだことがある人のうち「ポストから入手した」と回答した人が最多であり、次いで広報かしわ、近隣センター等公共施設と続いた

Q9.「年2回発行している在宅医療情報紙『わがや』を読んだことがありますか」

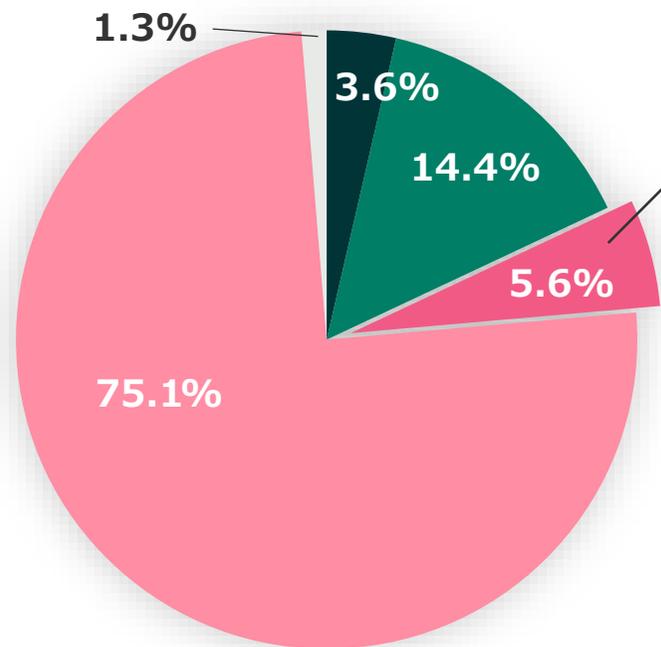
“わがや”を手に入れた場所



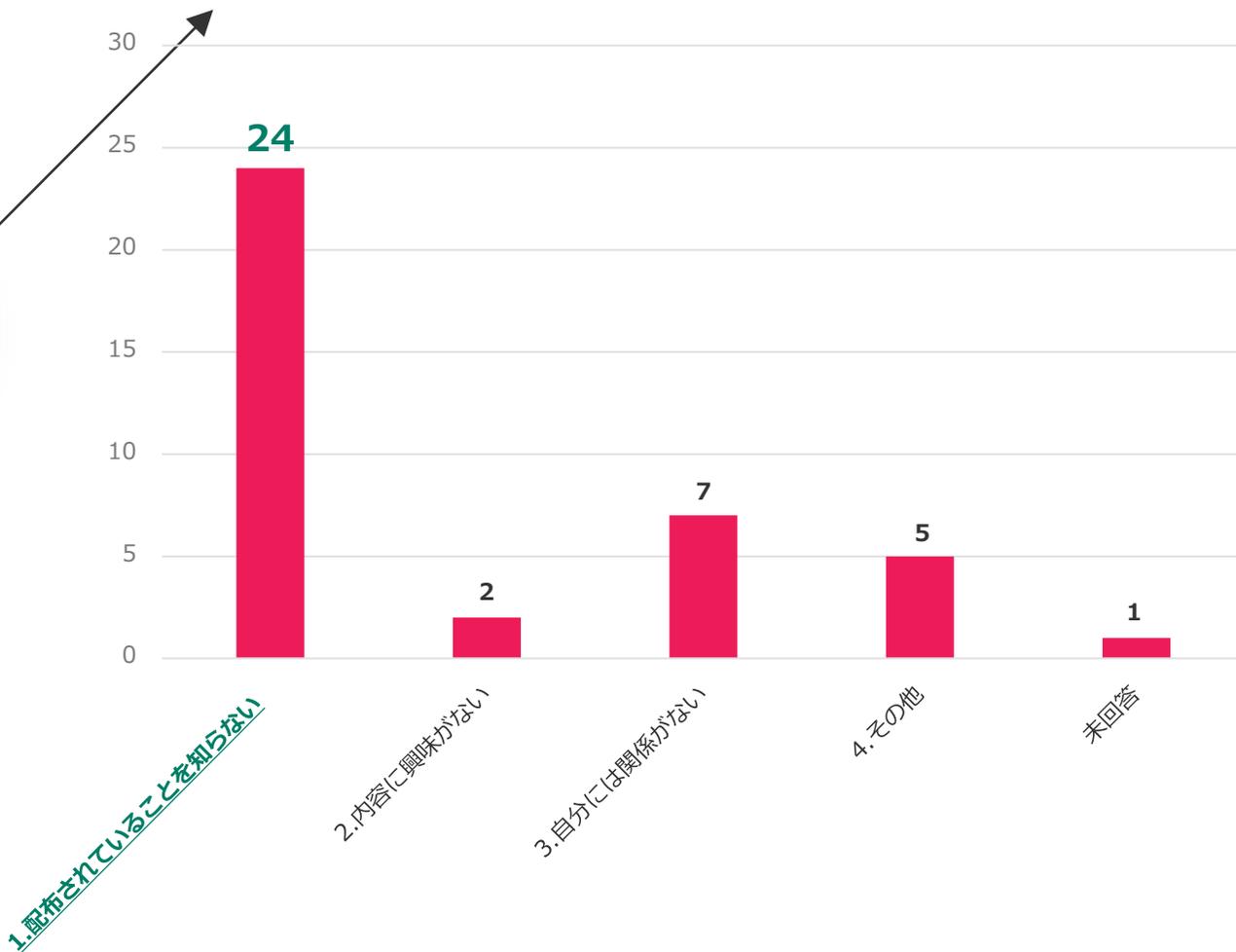
# わがやの入手先(令和7年度在宅医療意識調査抜粋)

「わがやを知っているが読んだことない人」のうち多くの人々が「配布されていることを知らない」と回答した

Q9.「年2回発行している在宅医療情報紙『わがや』を読んだことがありますか」



“知っているが読んだことはない”と回答した理由

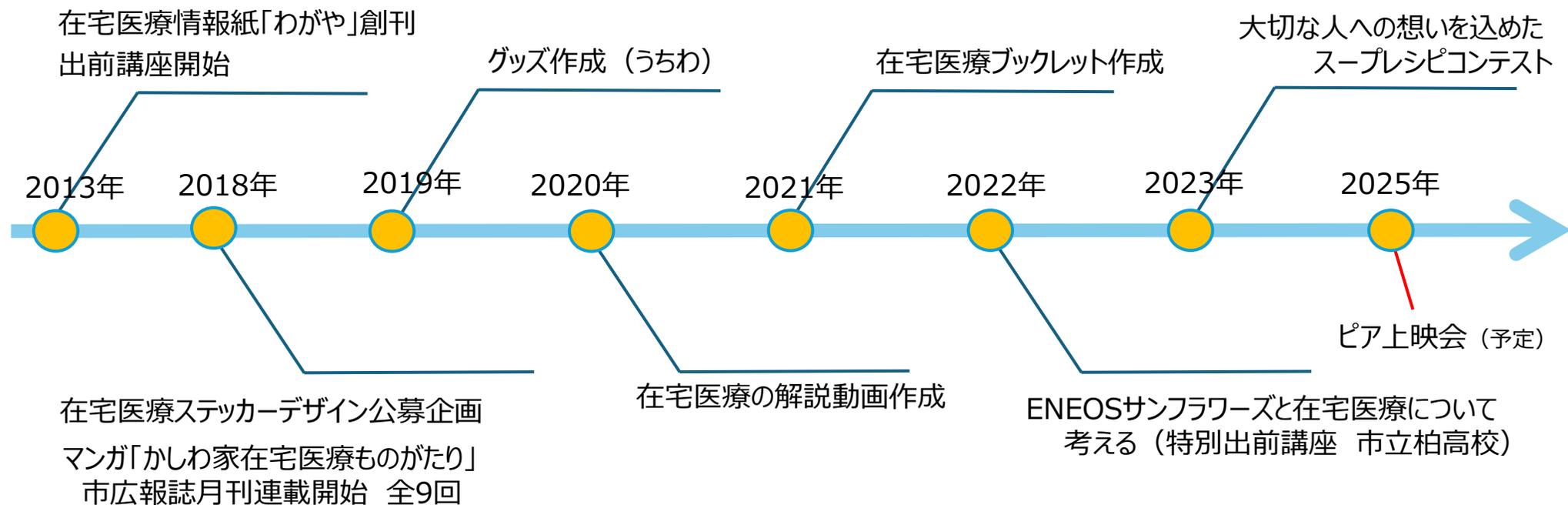


- 1. 毎号読んでいます
- 2. 読んだことがある
- 3. 知っているが、読んだことはいない
- 4. 「わがや」を知らない
- 未回答

# 啓発広報に関するこれまでの取組

『病気になっても、介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域でいつまでも自分らしく暮らせるように、在宅医療の実情を伝えることで、選択肢のひとつとして考えられるようにする。』ことを目的とし、啓発広報部会とも連携しつつ、行政として様々な取組を実施してきた

## 【取組一例】



# (参考) わがや配布先一覧・出前講座開催実績

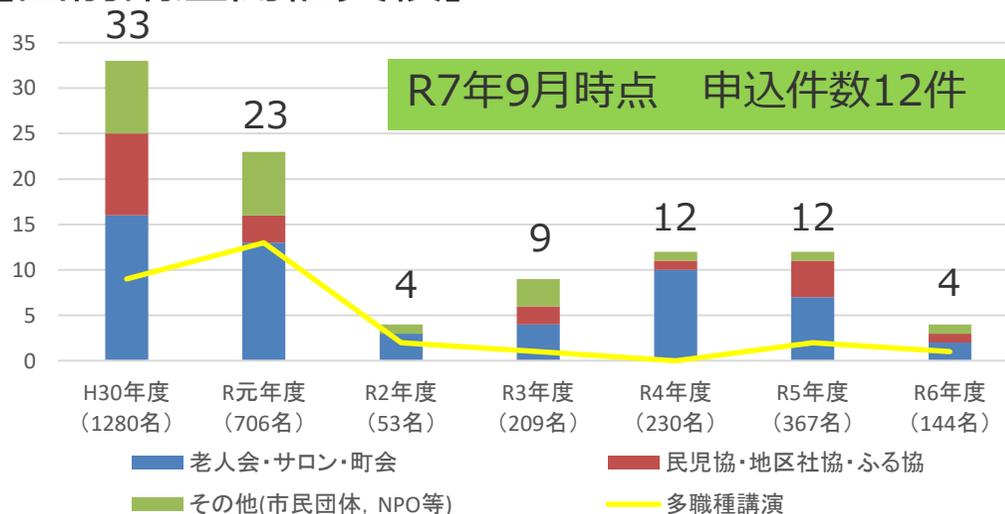
## 【わがや配布先一覧 (わがや25号発行時点)】

No.	配布先	部数
1	市内病院(15か所)	450
2	柏市医師会(各医療機関230か所)	690
3	柏歯科医師会(各医療機関200か所)	600
4	柏市薬剤師会(各薬局111か所)	333
5	柏市薬剤師会(個人会員32か所)	32
6	柏市社会福祉協議会	120
7	道の駅しょうなん	20
8	柏フィットネス振興会会員(4か所)	40
9	NPO法人ケアラーネットみちくさ	30
10	各近隣センター(23か所)	690
11	パレット柏	30
12	柏の葉サービスコーナー	30
13	富勢出張所	30
14	柏駅前行政サービスセンター	0
15	沼南支所	30
16	図書館	60
17	各地域包括支援センター(13か所)	390
18	ラコルタ柏	30
19	高齢者支援課窓口	30
20	ウェルネス柏(総合窓口)	30
21	市内消防署, 分署(11か所)	110
22	児童センター(7か所)	210
23	はぐはぐひろば・ポケット(3か所)	90
24	セブンパークアリオ柏	30
25	かしわインフォメーションセンター	0
26	セブンパークアリオ柏(柏市PRコーナー)	30
27	公立保育園(22か所)	220
28	認定こども園(20か所)	210
29	私立認可保育園(55か所)	570
30	小規模保育施設(18か所)	180
31	私立幼稚園(17か所)	160

32	市内小学校(42校)	18,170
33	市内中学校(21校)	10,580
34	本庁舎1階	30
35	柏駅東口駅前パンフレットラック	70
36	啓発・広報部会員	140
37	ポスティング(※「ちいき新聞」と一緒に投函)	139,996
38	各病院の地域連携担当(MSW16か所)	480
39	ケアマネ協のCM(カシワニネット投稿)	0
40	さわやかプラザ軽井沢	20
41	市立柏高校	10
42	柏の葉キャンパス駅パンフレットラック	30
43	柏たなか駅パンフレットラック	30
44	センター内配架	50
45	柏市ふるさと協議会(※)	21
46	町会(※)	249

配布数(合計) 175,351  
印刷部数 180,000

## 【出前講座開催実績】



今後、認知度向上のための取組検討を行ううえで、  
**どのような考えや手法を取り入れたらよいのか**  
という点について

- ① **客観的かつ幅広い視点・着眼点** から
- ② **委員の皆さまのノウハウ・ご経験** をふまえ  
広くご意見をいただきたい

## 【意識調査をふまえた事務局の見解】

### 1. 在宅医療や関連する取組自体が「知られていない」ことが課題ではないか

- 目に触れる・手に取られる・認識されるといった市民が在宅医療を知る機会を増やすことが重要

### 2. 働きかけたい層の優先順位を改めて定め、効果的な取組を検討し実施する必要があるのではないか

- 例えば、在宅医療を最も身近に感じることができる高齢者を中心に、取組の検討と実施を強化していくことが重要

### 3. 効果的な取組を実施するにあたり必要な変化や案は積極的に検討し、実施に向け準備を進める必要があるのではないか

- 例えば、ふるさと協議会や社会福祉協議会等々と連携や、高齢者参加イベントでの周知、わがやの仕様変更など